



第70号
令和7年2月28日

発行所

宮城県伊具高等学校
同窓会
宮城県伊具郡丸森町雁歌51
TEL 0224-72-2020
URL <http://www.iigou.com>
発行責任者 葛原妙子

印刷所

佐藤印刷株式会社



ごあいさつ

伊具高校同窓会会長 湯村 勇

伊具高校同窓会のみなさん、令和七年の新年をお迎えし、おめでとうございます。また、日頃同窓会活動に深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスはその後、少しずつ収束に向かい、本同窓会活動も以前の日常生活に戻つつあります。同窓会各支部の総会開催は五月二十六日、角田支部を皮切りに、大張支部、小斉支部の順に行われました。

久しぶりの開催に私もその席にお招きを受け、みなさん方と思う存分情報交換が出来ました。お互いに同窓会の結びつきに効果が上がったと思っています。

そして、八月四日には、あぶくま荘で、保科町長、黒須角田市長、八

島県議会議員のご臨席を頂き、令和六年度本校の同窓会総会を終えました。提出議案はすべて満場一致で可決されました。

ここで、同窓会などで話題になりました、最近の動きを二点ほど述べてみたいと思います。

まず、第一点です。この会報でもお知らせしている構内の桜木の伐採についてであります。昨年五月上旬、十八本が事故もなく、予定通り伐採を終えました。そして次の仕事に入っております。

次は二点目です。本校の野球グラウンド利用再開についてです。野球部の人員不足とグラウンド内に建設した災害町営住宅の移転による野球部復活についてであります。昨年四月当初は三名ほどでしたが、夏ごろに



護岸工事の様子

は九人に増大。また、令和元年台風災害の救助策として建設した災害住宅は別の場所に移転。野球選手からは待ちに待った喜びの声がグラウンドに響き渡りました。

これらの記念として、野球部に野球ネットとピッチングマシンなどの設置を同窓会が援助することに決定し、現在その準備を進めていると



伐木のご祈禱

ころです。
質実剛健・穩健着実：
この校訓を胸に台風に遭いながらも苦難に耐えた生徒諸君。さらに頑張れ！伊具高校生よ。
結びに同窓会皆様方の益々のご隆盛とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。



「今年度を振り返って」

宮城県伊具高等学校校長 齋藤 隆

同窓生の皆様には日頃から母校の様々な活動に、ご理解及びご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。今年度で伊具高校二年目となりました齋藤です。丸二年が経過し、伊具高校が「地元になくはない学校」であるといふ方々に認めていただき、地域企業・商店、小中学校・支援学校との連携で貴重な学びの機会を与えていただいていることに感謝を申し上げます。引き続き、専門高校ならではの特色ある学習内容を生かして活動を進めて参ります。また、生徒数が少ないことを利点と捉えて、積極的に新しい取組に携わり、更なる魅力発信に努めて参ります。

【令和6年度前半・入学式・苗販売・同窓会総会】

本校の地域連携に関する取組が徐々に浸透し、丸森・角田地区だけでなく、県内の教育関係者や企業の方々からも色々と声をかけていただき、つながりを更に強く持てるようになりまし。今年度を振り返ってみると、入学式では新入生47名が、本校での学びに胸を膨らませて入学いたしましたし



た。出身中学校は、丸森中13名、角田中20名、北角田中2名、槻木中1名、大河原中1名という内訳です。顔見知りの生徒も多く、1年間落ち着いた雰囲気です。新生活を送ることができています。新入生の入学に合わせたかのように校舎前グラウンドの「桜」が満開に咲き誇りました。今春（令和6年）の開花で桜の見納めとなることから、多くの同窓生が花見に訪れ、昔を懐かしむ姿が見られました。5月には伐木のご祈禱を執り行い、わずかに2週間余りで18本の桜の木が伐採され、これまでは違った風景に感慨もひとしおでした。現在、新川の護岸工事も順調に進み、少し先にはなりますが、工事終了後には桜の苗木を植樹する予定です。これから先、何十年と後輩たちが桜の木とともに成長して



母校を盛り上げてくれることを願っています。

ゴールデンウィーク中に農業系列の野菜苗販売会を行いました。PR広報を行っていかないにもかかわらず、例年多くの方々に来校していただいております。4月中旬から電話での問い合わせも多くあります。販売日初日は駐車場の確保も難しい状況で、渋滞もあつたようです。遠くは県北の方が評判を聞きつけ、観光を兼ねて購入に訪れていました。本校の野菜苗は成長が良く、多くの実を長く収穫できるため大変好評です。購入されたことのない方は今春ぜひご購入ください。



8月4日にあぶくま荘を会場に本部同窓会総会が開催されました。県会議員の八島利美様、丸森町長の保科郷雄様（本校同窓生）、角田市長の黒須貫様を来賓として迎え、総勢37名の参加がありました。事業報告や会計報告を手際よく済ませ、その後の懇親会では久しぶりに会う同窓生と昔話に花を咲かせました。特

に懐かしい野球部の話で盛り上がり、多くの野球部OBが活躍を待ち望んでいるとのことでした。

また、支部毎の総会は感染症の影響もあり、これまで活発には行われていませんでしたが、今年度は角田支部（天然温泉もみの木）、大張支部（あぶくま荘）、小斎支部（あぶくま荘）と開催されています。（詳しくは次頁に掲載）

【令和6年度中間・野球部の復活】

昨年度、部員不足のため休部状態であった野球部が新入生3名を中心に活動を再開しました。4月に1年生3名での活動が、7月になり他の部活動との兼部制を認めたことで部員が9名揃いました。夏の甲子園県予選大会は不参加でしたが、秋季大会には単独チームで出場することができました。1回戦で角田高校を相手に大敗となりましたが、選手たちは十分な手ごたえを感じる試合ができたと話していました。

9月7日に野球グラウンド開きを行いました。令和元年10月の台風19号による豪雨被害で、仮設住宅が立ち並んでいたグラウンドが整備され、5年ぶりに返還されました。当日は、安全祈願のご祈禱を執り行い、丸森町役場の野球チームと記念試合を行いました。試合結果は4対4の引き分けで記念すべき試合となりました。【令和6年度後半・学習成果発表会】1月に学習成果発表会で生徒たちが1年間のまとめとしてグループ発表を行いました。農学系列の課題研究は、「だて正夢の密植による品質

と収量の研究」です。その他に一人一人が課題を決めて、「スイカ・かぼちゃ・枝豆・サツマイモ」の生育に1年間取り組みました。機械系列ではふるさと納税返礼品の「組立式七輪」や「ごみ集積所」や「イノシシ捕獲用檻」の製作、「ガイドドローン」の研究等を行いました。情報系列では総合的な探究の時間で、地域飲食店カフェ・ステラと連携した商品開発、養蚕や養蜂の研究を行いました。福祉系列では防災活動に力を入れて取り組み、館矢間小学校1・2年生に対して、「Dream Baton Project」伊具高校生と防災を学ぼう」を開催しました。防災紙芝居の読み聞かせや段ボール、ベツト、防災テントの組み立て方を指導しました。丸森小学校1年生や角田ミネ幼稚園との交流活動も実施しています。学習成果発表会には多くの



ご来賓の皆様にもご参加をいただき、ありがとうございました。本校が「地元になくはない学校」として、これからも魅力を発信し続け、地域活性化に役立つ取組を継続していきたいと考えております。

【次年度に向けて】

丸森・角田地区の少子化に伴って、年々、入学者数が減少しています。これはこの地域だけではなく、全県的に同様の状況です。それぞれの学校が魅力を発信して、生徒募集を行っているのですが、子どもがいらないことにはどうにもなりません。毎年、入学者数に数名程度の増減はありますが、本校での定員充足にはほど遠い状況です。学校の存続について心配されている方もいるようですが、直ちに統廃合されることはなく、しばらくは大丈夫です。ただし、今後の更なる少子化で状況がどのように変わるかは予想できない状況にあります。

これからの地域・保護者、

学校が持つそれぞれの教育力を生かし、在校生の力を最大限に引き出す教育活動に取り組むことが我々教員のできることと認識しております。同窓生の皆様には今後とも益々のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年度総会報告

8月4日(日)午後5時30分 あぶくま荘

◎協議事項

- 一 令和5年度事業・会計報告ならびに承認について
- 二 令和6年度事業計画・予算案承認について
- 三 その他

◎懇親会

本年度の総会では、昨年度の事業及び会計決算報告、監査報告、本年度事業計画及び会計予算案が審議され、各議題共に原案通り可決しました。また、丸森支部長、仙台支部長交代の報告をしました。

本年度は昨年同様、あぶくま荘を会場に参加者を限定しない形式で総会と懇親会を実施し、総会35名、懇親会33名が参加しました。

湯村勇会長からはグラウンドの桜の木の伐採についての話や、野球部の大会出場等母校の動きについて挨拶がありました。その後、齋藤隆校長から最近の母校の学習活動の様子等を交えながら挨拶を頂戴しました。

また、スライドショーでは、桜の伐採に関しての安全祈願の映像や、その他母校の生徒の活躍が紹介されました。



角田支部総会

(農蚕科14回・角田支部)

鈴木 善一

令和6年度、第10回宮城県伊具高等学校同窓会角田支部総会に、角田市長黒須貫様始め、丸森町長保科邦雄様、宮城県伊具高等学校校長齊藤隆様、同窓会会長湯村様におかれましては、公私ともどもお忙しい中、支部総会にご出席頂きまして心より感謝を申し上げます。また会員の皆さまにおいても、忙しいところご出席を頂き有り難う御座います。

コロナ禍のため4、5年間は総会ができずに残念な思いをしていました。また、角田支部が誕生して10年になりますが、以前は5地区角田、桜、北郷、枝野、藤尾、各地区で実施していたものを10年前に合併して今日にいたりました。さて、例年、伊具盆地は日増につれて田園風景の緑が一段と濃くなる風景を見せますが、この田園風景を支えているのが同窓生の皆さんが頑張っているからと言って過言でもな



角田支部活動報告

- 第1回役員会(令和6年4月13日(土))【北郷のもみの木】
令和5年度会計報告、監査、10回支部総会の件について
- 第2回役員会(令和6年4月15日(月))【伊具高校校庭】
桜の木伐採祈禱式
- 第3回役員会(令和6年5月18日(土))【角田駅りんどう】
第10回支部総会準備委員会
- 総会(令和6年5月26日(日))
第10回支部総会開催後懇親会
- 本部総会(令和6年8月4日(日))【あぶくま荘】
角田支部から15名参加

以上

いでしょ。元角田女子高校の角田隅の一角に間借りをして、大正9年に伊具農蚕学校が産声を上げた」と聞いています。本間直人初代校長先生の熱い、熱い思いで設立されました。今日で100年以上年月が流れ、卒業生20000人以上を社会に送り出し、そのうち角田支部では約三分の一の7000名の方々が社会で気に活躍しています。



その中には枝野館島田農事法人を立ち上げて大規模農業にかかんに挑戦している方もいます。同窓生として誇りに思います。知性に富んで、しかも元気に、社会に大きく貢献している姿を見ますと質実剛健、穩健着実の校訓を重んじた教育を受けた事が社会に大きく貢献しているのだと感じます。

最後になりますが、ご卒業生される皆さん、ご卒業おめでとうございませう。夢と宿念、目標を持つて健康で元気に努力する事が一番大事だと思います。この言葉をもつて贈る言葉とします。

「台風ツメ痕」

(商業科8回・丸森支部)

渡辺 良仁

この度は、恩師である小野正彦先生の勧めをいただきまして、丸森支部長を承りました。

私は、商業科第六期卒業生で、野球部に在籍しておりました。現在地元で、小さな弁当屋「えがお」を営んでおります。

五年前の台風では、多大なる被害を受けて、母校のグラウンドに仮設住宅が立ち並び、野球部がいろいろな他校との各種大会などを実施できず、グラウンドが使用できないことに対してとても虚しい気持ちでおりました。

今年九月七日に、仮設住宅の跡形



もなく、素晴らしいグラウンドの開設式典が実施され、野球部も復活して心よりうれしく喜んでおりました。町内でも、五階建ての町営住宅や台風前よりも整った住宅など、町の景観も美しく、只今進行中の大きな排水ポンプ場に防災ヘリポートなど、今後の完成に期待を寄せております。ともあれ、私は母校の野球部の活躍と各種方面での在校生の活躍に私はとてもうれしく観ております。今後さらなる活躍と躍進を心より祈念しております。

令和6年度大張支部総会開催

(農業科26回・大張支部)

佐久間 俊一

平成28年4月から大張まちづくりセンターで仕事をしております。従来の公民館ですが、平成22年度から地区の住民組織が町から公民館施設等の指定管理を受け、地域の事業活動を行っています。

大張支部では毎年幹事会を開催し、総会と懇親会を開催しております。

令和元年の東日本台風19号による災害や新型コロナウイルスの感染拡大により一部活動を自粛する時もありましたが、令和5年には移動研修を実施しました。令和5年8月27日(日)にレンタカーのマイクロバスを利用し、福島市内にある岩谷観音、古閑裕而記念館、福島県美術館を見学しました。17名の参加で大変和やかな雰囲気でした。実施することが出来ました。

令和6年度は、8月31日(土)、あぶくま荘で宮城県伊具高等学校同窓会大張支部の総会・懇親会を会員18名の参加により開催しました。

令和6年度の総会には丸森町長の保科郷雄様、同窓会会長の湯村勇様、学校からは斎藤隆校長先生、同窓会事務局長の半澤寛之様に出席して頂きました。最初に参加者全員で校歌を斉唱し、開会の挨拶を大槻孝雄支部長が述べ、丸森町長保科郷雄様よりご祝辞を賜りました。昨年の移動総会の話題もあり、久しぶりに和気あいあいの中で有意義な交流が出来たと思います。

支部役員も年々高齢化になっております。若い方の参加が難しい現状にあると思います。令和4年3月に町内8校あった小学校が2校に統廃合されました。母校である伊具高校も学生が減っていると聞いております。県下の高校も将来構想の実施計画に基づき再編が実行されており、現段階で当母校がその対象にはな

ていないようですが、いつなり兼ねないのではないかと危惧しているところですが。

このようなことで地区における各種事業取り組みを行っております。その中で当地区に自生する「くわご」に着目し、実を収穫して冷凍保存を行っていろんな使い方を考えながら取り組みをしているところですが。この「くわご」は大唐桑と言われる品種で粒が4cm程の大きさになる実でマルベリーと呼ばれています。地区の方々数名に協力を頂き、大張マルベリーの愛好会を立ち上げ、6月に収穫作業を行い冷凍保存、地区の催事等で試食提供を実施しています。一粒一粒収穫する作業で中々大変な面はありますが、いろんなことに活用ができればと考えております。

令和6年度小斎支部総会開催

(農業科23回・小斎支部)

戸村 哲夫

令和6年11月30日(土)、伊具高等学校同窓会小斎支部の総会が国民宿舎あぶくま荘で開催されました。

当日は、インフルエンザやコロナの再流行の影響もあってか、直前になつてのキャンセルもあり、残念ながら参加者は13名と少なくなりました。来賓として湯村同窓会長並びに斎藤校長に御出席を賜り、ご祝辞をいただきました。

横山支部長の挨拶の後、支部長を

議長に協議に移り、令和5年度の事業報告や収支決算、令和6年度の事業計画(案)や収支予算(案)が異議なく承認されました。また、役員改選では、支部長を始め、現役員全員が再任されました。

総会に引き続き懇親会が開催され、世代は違っても同じ伊具高校の卒業生であり、小斎地区の住民なので、学生時代の思い出話や小斎地区の話題等、お酒も入り大いに盛り上がり、楽しく有意義な時間を過ごしました。近年、少子化により小中学校、高校の統合が進んでおり、母校である伊具高等学校も生徒数が減少し将来が心配だとの声も聞かれます。地域の将来を担う人材の育成のためには地元の高校は絶対必要だと思っています。伊具高校が存続できるよう一同窓生として願っています。

また、移動総会としては2回目となる今年の総会でしたが、「総会だけでなく懇親会も毎年開催してほしい」とか「参加者が少ないのもつと声掛けをして参加者を増やしてほしい」等の意見もありました。

今年の干支は巳年です。私も巳年生まれですので、今年は一皮むけた変革、成長の年にしたいと思っています。古希は過ぎましたが、伊具高校卒業生の一人として、校訓である「質実剛健・穩健着実」を胸に、地域社会に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

伊具高野球部より

同窓会から以下のものを提供していただき、大変ありがとうございました。おかげさまで日々、充実した練習ができております。特にバッティングマシンが使用できるようになったことは、まだ部員数が少ない本校野球部の練習を劇的に変化させております。

今後も支えていただいている同窓会、地域の方々などへの感謝の気持ちを忘れず、日々の練習に励んでいきたいと思っております。現在、大会への単独チームでの出場と大会1勝を目標にしております。試合では、勇気や感動を届けられるプレーをしたいと思っておりますので、是非球場に足を運んでいただけたらと思います。今後とも野球部を宜しくお願い致します。

【提供いただいたもの】 ピッチングマシン修理・ネット修理・練習球120球



バッティングマシン



野球部 メンバー



マシンを使用しての練習



バッティング練習

系列紹介

機械系列

「ものづくりは人づくり」を標榜する機械系列として、「伊具高の力」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトは、地域のために高校生に何ができるかを考え実践するものです。4年前の小中学校への出前授業から始まり、コロナ禍では、子ども向けの消毒液スタンドの製作を行いました。今年は、ゴミ集積所の寄贈、鳥獣被害に悩まされているとの声から捕獲用箱罠の製作、ふるさと納税返礼品の製作、ドローンの活用法を模索し、企業、大学と連携し研究開発に取り組んでいます。そして、今年は角田市で行われているはやぶさ祭りにも参加しました。イベントにも積極的に参加し、地域と生徒の関わりを大切にしています。また、外部講師を招聘し、溶接作業でのBBQコンロ製作、旋盤作業でのコマ製作、板金作業でのちりとり製の製作



作、また、5S講習会を実施しました。また、本系列では、情報教育にも力を入れています。産業用ロボット特別教育、無人航空機従事者試験3級（ドローン検定）、実習ではモナカエデュケーションを活用し、Arduino、Java、Pythonなどのプログラミング実習を実施しています。これは、激しく変動する社会情勢に合わせた資格や実習内容であり、時代の変遷に対応し、生徒や地域の実態、社会の実情を踏まえ取り組みんでいます。本系列では3年間で、ものづくりの基礎・基本を習得し、「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」といった社会人基礎力を身につけ、自らのキャリアを切り拓いていき



ます。今年度の3年次生も伊具高校での様々な学校行事、機械系列での学びを通して成長できた感じています。また、9割近くの生徒が地元企業に就職します。これまで以上に個と地域、企業、組織、社会との関わりは長くなります。在校生、卒業生が、ライフステージの各段階で活躍し続け、今後地元を支えていく人材になってくれることを願っています。

農学系列

農学系列では農業の六次産業化「1次産業の農業」×「2次産業の加工」×「3次産業の販売」に対応した人材の育成を目指して、日々の学習や実習を行っています。本年度は、一昨年度コロナ禍で自粛していた活動を徐々に再開しながらも、密を避けるなどバランスを図りながらの学習実践を行った年度でした。春の苗販売では、広報PRをせず

審査員として本校の生徒が参加し、地元や隣接している角田市の方々と交流の機会をいただきました。秋にかけては、数年前から続く、大張沢尻の棚田で米作りを体験させていただきました。本校OBの大槻様の指導の下、3年生の生徒5名、2年生の生徒4名が棚田でも米作りに挑戦しました。急斜面にできた棚田に悪戦苦闘しながら一生懸命取り組み姿は、生徒の成長の糧となりました。また、マスメディア等の取材を受け、学習活動のアピールにもなりました。今後とも食と農のオールラウンダーを目指して、少数精鋭で多種多彩な活動に取り組む全人的な成長に繋げて行きたいと思っておりますので、ご期待下さい。



情報系列

情報系列では、ビジネスの諸活動の基礎・基本を身につけた上で、地域社会で実際に役立つ専門的な知識や技術を学習し、即戦力として地域に貢献できる人材育成を目指しています。また、職業人として求められる協調性や社会性、コミュニケーション能力について育成に努めています。DXやAIなどの情報化社会の変革に対応し、必要な場面で必要な能力を発揮できる人材を目標として、日々授業に取り組んでおります。

授業においては商業に関する各教科を学び、各種検定取得も目標としています。情報処理検定・簿記検定・ビジネス計算実務検定などがあり、検定合格に向けて日々学習に取り組んでおります。3年次生の課題学習においては、それらの教科を生かして地域連携事業に取り組みます。本年度は、3年間の集大成として地元企業との商品開発、地域産業の探究活動、校内における販売実習などを行いました。商品開発は地元企業と



共同で実施し、伊具

高祭で販売しました。

発案・試作品検討から当日の販売・アンケート・原価計算まで一連の流れの中で、生徒達は協調性・責任感を持って研究に取り組み、接遇マ



ナーやコンピュータの技術・簿記など、3年間の学習内容を十分に生かすことができました。地域産業の探究活動では、丸森町の産業として観光業・養蚕業・養蜂業の3つに焦点を絞って取材活動を実施し、地域の学びを深めることが出来ました。2年次生は地域のJ A女性部ふれあい農園直売所が販売する漬け物のパッケージに貼るラベルを作成し、贈呈することが出来ました。

更に、外部活動では齋理幻夜において幻夜新聞発行・総合司会としてイベントを盛り上げることができました。今年度は丸森町合併70周年で、例年のテレビによるPR活動の他、ラジオの生放送によるPR活動にも参加しました。

今後、多くの活動を通して、地域産業を担う人材として、人間性豊かな職業人を育成するために、万全のサポートを行っていききたいと思います。

福祉系列

福祉系列は専門教科「福祉」「家庭」の科目が充実しており、福祉・家政系への就職または進学を目指して、日々学習に取り組んでいます。今年度は1年次16名、2年次10名、3年次9名、合計35名の生徒が所属しています。

福祉系列を選択している生徒の多くは、将来介護職として働く上で必要な基礎知識・技術を修得することが出来る「介護職員初任者研修」の取得を目指しています。今年度も2年間基礎を積み上げてきた3年次生が、夏季休業中に地域の介護施設「仙南ジェロントピア」で介護実習をさせていただきました。学校だけでは学べない入浴や排泄、食事介助の補助も体験させていただきました。生徒たちにとって大変有意義な時間となりました。

また、福祉系列は令和元年東日本台風の経験から、これまで継続して防災について学び、活動しています。今年度は10月に館矢間小学



校やミネ幼稚園の子どもたちと防災教室を実施しました。令和4年度卒業生が制作した紙芝居「い・ま・こ・そ」の読み聞かせを行ったり、段ボールベッドや防災テントの組み立てを実演する活動を行いました。また、今年度は安全・安心の「最初の第一歩」について学ぶ「防災ダック」

にも挑戦しました。「防災ダック」は、幼児から小学校低学年の児童向けの防災教育用カードゲームで、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら、防災や日常の危険から身を守る行動について学ぶことが出来る遊びです。この取り組みを通して、福祉系列の生徒は子どもたちとの関わり方や声のかけ方などを学ぶことができました。

地域に学び、地域に還元することが生徒の学びをより深めることにつながると考えております。それぞれの目標に向かって、一生懸命取り組んでいる生徒たちです。なので、同窓会の皆様には、今後とも様々な場面で御協力いただければ幸いです。



生徒の活躍

●弓道部

板橋慶教記念第48回岩沼市武道大会

高校男子団体

3位

高校女子団体

3位

●陸上競技部

仙南総体陸上競技大会陸上競技

男子4×100mR

2位

男子4×400mR

3位

●柔道部

仙南総体柔道競技男子団体

3位

3年 小形 樹

宮城県高体連仙南支部柔道専門部

功労賞 3年 小形 樹

●水泳部

第56回仙南水泳大会

男子100mバタフライ

1位 2年 坂本 龍生

男子200mバタフライ

2位 2年 坂本 龍生

●バドミントン部

宮城県高等学校体育連盟バドミントン専門部

功労賞 3年 森 麗虹

●農業クラブ

意見発表会Ⅲ類資源活用・地域振興

奨励賞 3年 芳賀瑛璃花

家畜審査競技会肉用牛の部

奨励賞

農業クラブプロジェクト発表Ⅰ類農業生産・農業経営

奨励賞

宮城県高等学校生徒理科研究発表会

優秀賞

●吹奏楽部

吹奏楽コンクール高等学校

小編成の部

銅賞

宮城県アンサンブルコンテスト予選仙南地区大会

管打楽器四重奏

銀賞

●書道部

第49回ふれあい書道展

敢闘賞

3年 只野玖玲亜

奨励賞

2年 坂本 龍生

2年 能田 楓

●写真部

宮城県高文連仙南支部仙南高校写真展

金賞 3年 清水 大聖

銅賞 3年 齋藤 栞愛

●ソフトテニス部

宮城県高体連仙南支部ソフトテニス

功労賞 3年 太田 夏暉

●バレーボール部

仙南秋季大会

バレーボール女子 第3位

宮城県高体連仙南支部仙南新人大会

バレーボール女子 第3位

●バスケットボール部

宮城県高体連仙南支部バスケットボール

功績賞 3年 湯村 悠斗

仙南支部バスケットボール

優秀選手賞 3年 芳賀瑛璃花

令和6年度学校行事より 生徒の様子



10月〈伊具高祭〉大盛況でした！



6月〈体育祭〉総合優勝は3年1組



5月〈遠足〉楽天スタジアムで試合観戦

編集後記

今年度は同窓会報をカラー印刷で作成してみました。グラウンドの桜のピンク色や、授業風景、学校行事の躍動的な生徒の姿も、生き生きと表現できたと思います。コロナは完全に終息したわけではありませんが、母校の教育活動はコロナ以前と変わらないものとなってきました。

次年度以降も母校の発展にご協力頂きますようお願い申し上げます。また、本会報の原稿依頼に対し、ご快諾・ご寄稿頂きました会員の皆様には厚く御礼申し上げます。編集後記といたします。

【同窓会事務局】

葛原 妙子
鷺尾 静香

